



散歩道

令和5(2023)年6月1日発行

加西市人権啓発だより
加西市ふるさと創造部人権推進課
加西市北条町横尾 1000 番地
☎ 0790-42-8727

第 23 号

今までの日常生活を取り戻しつつある中で

新型コロナウイルス感染症も2類から5類へと変更され、社会生活や行楽など、今までの生活が戻りつつあります。今後は各自の感染予防対策が求められます。そのような中、加西市の住民人権学習も昨年度よりインターネットを活用した学習形態（まちかどオンライン）を取り入れています。少しでも多くの方々に人権意識を高めて、行動していただけることを願っています。

ところで、インターネットは、たいへん便利なツールですが、使い方を間違えると人の心を傷つける凶器になってしまうこともあります。その特性を十分理解したうえで、相手の人権を尊重することを忘れずに利用していかなくてはなりません。今年度の「人権文化をすすめる市民のつどい」では、ある日突然インターネット上で殺人犯にされてしまった、お笑いタレントのスマイリーキクチ氏を講師に招き、「インターネットと人のかかわり ～突然、僕は殺人犯にされた～」(仮題)の講演会を行う予定です。

つぎに、今年度の人権テーマは「性の多様性を認め合う ～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」として住民人権学習を進めていきます。人権啓発ビデオ「バースデイ」をより多くの方々に視聴していただき、多様な性の在り方について理解するきっかけにし、お互いの人権を尊重することが、すべての人が自分らしく生きていける社会の実現に繋がるということ、いっしょに考えていただければと思っています。



◆人権啓発冊子「まちかど」2023年度版

「まちかどフォーラム」や「地区人権学習会」での資料となります。事前に配布いたします。配布時期は町によって前後しますのでご了承ください。是非一読していただき、人権について考える資料としてご活用をお願いします。

キーワードは、「気づく」→「知る」→「行動する」→「つながる」です。

◆「住民人権学習」

昨年度より住民人権学習を4年スパンで開催しています。各町で実施する「まちかどフォーラム」「まちかどシアター」、地区ごとの「地区人権学習会」、各自で人権啓発映画を視聴する「まちかどオンライン」を実施します。

◆「まちかどフォーラム」(4年に1回) 7月～10月 開催予定

町ごとに人権について話し合いを開催します。今年は、北条・西在田地区において開催予定になっています。テーマは、「性の多様性を認め合う ～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」、推奨映画は兵庫県人権啓発協会「バースデイ」です。



主な人権啓発事業



★「人権文化をすすめる市民のつどい」 8月20日(日) 加西市民会館 午後1時30分～
加西市民の人権意識を高め人権推進に取り組む「市民運動」の集まりです。

- ・人権啓発ポスターの優秀作品表彰
- ・人権講演会 演題「インターネットと人のかかわり ～突然、僕は殺人犯にされた～」(仮題)
講師 スマイリーキクチ 氏 (お笑いタレント)

★人権フィールドワーク 10月13日(金) 午前8時00分～

ー奈良で人権問題について学ぶ (おおくぼまちづくり館、水平社博物館など) ー

★長島愛生園訪問研修 11月7日(火) 岡山県長島愛生園 午前8時30分～

ーハンセン病元患者の入所施設を訪問し、感染症差別の実情等を学ぶー

★映画上映会 12月10日(日) 午後1時30分～ アステアかさい3F多目的ホール

- ・上映作品 『ケアニン ～こころに咲く花～ 』

※いずれも詳細は市広報・HP等でお知らせします。

身近な人権問題

人権にかかわる身近な話題を提供します



知っていますか？「アンコンシャス・バイアス」

以下の項目についてどう思いますか？【ある・どちらともいえない・ない】の3択で考えてみましょう。

- ① 血液型で相手の性格を想像することが… ……【ある・どちらともいえない・ない】
- ② 「男らしく」や「女らしく」と思うことが… ……【ある・どちらともいえない・ない】
- ③ 「普通は～だ」「たいてい～だ」という言葉を使うことが… ……【ある・どちらともいえない・ない】

あてはある項目はありましたか。これらは日常にあふれているアンコンシャス・バイアスの一部です。『アンコンシャス・バイアス (unconscious bias)』は、日本語で「無意識の偏ったものの見方」のことを言います。「無意識の思い込み」「無意識の意見」等と表現されることもあります。

私たちは、「過去の経験」や「見聞きしたこと」に影響を受けて、知らず知らずのうちに偏ったものの見方をしていることがあるかもしれません。また、考える以前に瞬時にかつ無意識に起こる連想で決めつけているかもしれません。同じものを見ていてもその解釈が様々であったり、同じ言葉であっても感じ方が様々であったりということが多々あります。意識しなければならぬのは、相手が必ずしも同じ価値観をもってはいないし、同じ見方はしていないということです。

アンコンシャス・バイアスの正体は、「自己防衛心」です。自分の都合や要望を優先するときに、「決めつけ」や「押しつけ」という言動が生まれます。

まずは、言われたとき、発言したときに「これって、どうなの？アンコンシャス・バイアスかな？」と考えてみるのが大切です。

(兵庫県人権教育研究協議会発行「元気UP じんけん2023」より一部抜粋)

※人権啓発の各事業等は、加西市ホームページに掲載しています。

(トップページ→「市政」→「まちづくり」→「人権」へ)

※表題「散歩道」という名称は、平成13(2001)年度まで人権啓発冊子で使用されていました。)